⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
	区分	金額	
平成16年度（承継）	費用進行基準を採用した業務	131,806,387	○基礎研究推進等事業費にかかる債務として131,806千円計上されているが、当研究所が平成17年４月に設立され独立行政法人医薬品医療機器総合機構から引継いだ運営費交付金債務であり、中期計画終了時まで債務のまま計上することになる。
平成17年度	費用進行基準を採用した業務	123,966,040	○全ての業務において費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由 当年度は、法人設立当初であり職員数が計画人員を大きく下回っており、退職手当等人件費を残額として残している。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度に収益化する予定である。
平成18年度	費用進行基準を採用した業務	46,603,298	○全ての業務において費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由 退職手当等人件費を残額として残している。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度に収益化する予定である。
平成19年度	費用進行基準を採用した業務	41,676,365	○全ての業務において費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由 退職手当等人件費を残額として残している。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度に収益化する予定である。
平成20年度	費用進行基準を採用した業務	114,784,527	○全ての業務において費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由 主に退職手当等人件費を残額として残している。 基礎研究推進等事業費については、研究委託の進捗状況や新規研究委託事業の採択により事業が進められるため研究委託費等を残している。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度に収益化する予定である。
合計		458,836,617	

８．運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

⑴　施設費の明細

（単位：円）

区分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘要
		建設仮勘定見返施設費	資本剰余金	その他	
施設整備費補助金	272,521,000	—	272,521,000	—	
計	272,521,000	—	272,521,000	—	

⑵　補助金等の明細

（単位：円）

区分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘要
		資産見返補助金等	資本剰余金	収益計上	
iPS細胞等創薬基盤整備事業	874,373,272	874,373,272	—	—	
生物資源研究推進事業	23,618,401	—	—	23,618,401	
計	897,991,673	874,373,272	—	23,618,401	